

































チャレンジ項目記入数

17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、朝礼にて社員全員で唱和し、理念の共有、意識の統一化に取り組んでいる								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		会議、安全衛生委員会、事務所掲示板を活用し、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、営業をはじめ対外的な取引を行うものを中心にその重要性を発信している。また、不当な値引きがないか確認している										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当部署を設けており、HPの問い合わせフォームなど一般の方に対応する体制を整備している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		自社で撮影・作成した木材紹介の写真や文章を無断転載されないようホームページに明記している								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		就業規則に個人情報保護の規定を設けており、金庫内保管など適正な管理・保護をしている																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客(地元工務店)と定期的な勉強会を開催し、その中のご不満ご要望をヒアリングする機会を設けている																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	BPCを策定し、避難訓練や避難経路の確認を実施している									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	令和5年に事業継承を実施している								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則にハラスメント防止規定を設けており、社員が認知できるようにしている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則に、安全衛生の規定を設けている ・毎月安全衛生委員会を開催し、各部署から事故や作業時の注意点、敷地内で整備が必要な箇所の報告など産業医も同席してもらい意見交換を行っている			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		パート社員に関して就業規則を設けており、正社員と同じように通勤手当や休暇など同じ待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・勤怠管理システムを導入し、長時間労働の是正に取り組んでいる ・育児短時間勤務を積極的に活用するよう促している			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・会社で必要な資格に関して補助を行い、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人の認定を受けている ・年に1度のバス検診やインフルエンザの予防接種の経費を会社で負担している			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性に関しては管理職登用や育児支援制度、障がい者雇用、制服の廃止に伴うスラックスの導入などダイバーシティ経営に取り組んでいる				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・会議の際は他部署の参加もしやすいようウェブ会議を導入している			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	9月にDXを促進するためのシステムを導入するため、システムの練習やIT補助金の申請を行っている								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	ブライト企業に認定されている			3	4				8	9			12					




チャレンジ項目記入数

17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産廃事業者と連携を取りながら廃棄物や有害物質の分別方法を共有している ・化学物質管理者を配置しており、有害物質に対し、適切な管理及び処理をしている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力会社や月々のガソリン代を把握、管理をしている。事務所や倉庫内の照明をすべてLEDに交換し、電力使用量を削減している							7.3						13		
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		令和7年6月よりzero-carbon-system「炭削くん」を導入しており、月々の温室効果ガスの排出量の把握に努め、その結果をもとに抑制に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		業務上発生するごみは、種類別に分類のもと、指定事業者へ産業廃棄物として処理を依頼している						6.6								14	15
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		印刷は可能な限りミスコピーの裏面に印刷したり、書類の印刷を紙からPDFに切り替えるよう促進している									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水を出しっぱなしにしないなど基本的なことに加え、節水型のトイレを導入している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		端材を活用した組み立てイスなど環境に配慮した自社製品の製作、販売を行っている									9.4			12.4 12.5	13	14	15
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・合法木材のみを扱い、違法伐採を防ぐことで森林保全に貢献している ・令和5年3月に弊社主催で植樹活動を行った											11.6 11.7		13.1 13.3		15
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・太陽光発電設備を取り扱い販売し、地域の再生可能エネルギーの利用促進を促している							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	子どもにもわかりやすいワークショップを行い、持続的な森林利用への取組みを推進している						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	【予定】令和8年3月までに植林活用を行う						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	廃プラなどごみの分別を行い、産廃業者に引き取り、処理を行ってもらっている												12.2 12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3		
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13		

チャレンジ項目記入数

17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品、商品を荷受けする際に検品を徹底しており、サービス向上に取り組んでいる			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		足元が悪い場に注意喚起を促す案内をするなど安全衛生委員会内で検討、環境整備を行っている									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・取り扱う木材は熊本県産材を優先的に使用している ・熊本県の補助事業を活用するなど、県産材の使用を積極的に地域の工務店に促している		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	道路境界線のコンクリートブロックを木堀にしたり、増築している会議室の壁面や床は木材を使用している							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	高齢者・子どもに優しいユニバーサルデザインの木製組み立てイスやテーブルを販売している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		災害義援金の寄付を行ったり、定期的にごみ拾い活動を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		震災を教訓に、水など備蓄品を常備している。また、ハザードマップは確認できるよう掲示している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	自社イベントにて身近に木材を感じてもらうなど、環境問題に対して教育の機会を提供している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	高校生のインターンシップを受け入れている				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の高校生や大学生を積極的に採用している				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	子ども向けに木工教室を行うなど、木材に触れる機会を作ることで関心をもってもらうようにしている		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17